

就職氷河期世代職場実習・体験 (インターンシップ) 事業

■ ■ 職場実習・体験（インターンシップ）とは？ ■ ■

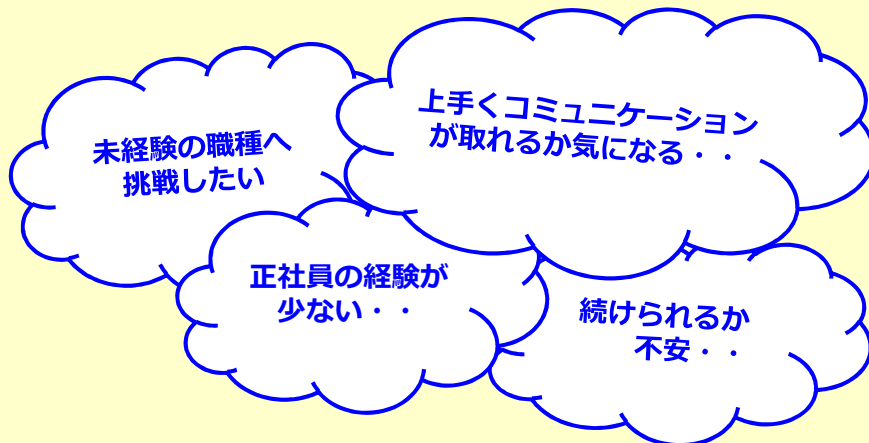
就職氷河期世代の方々が、就労体験を通して、応募検討中の事業所の業務内容 や 希望する業種・職種への理解 を深めてもらうため、職場実習・体験（インターンシップ） の機会を提供 し、安定的な就労に向けた支援を図ること を目的に行うものです。

実際に働いている方のお仕事の一部、または全部を体験・見学します。

■ ■ 対 象 者 ■ ■

1968（昭和43）年4月2日 から 1988（昭和63）年4月1日

までの間に生まれた就職氷河期世代の方

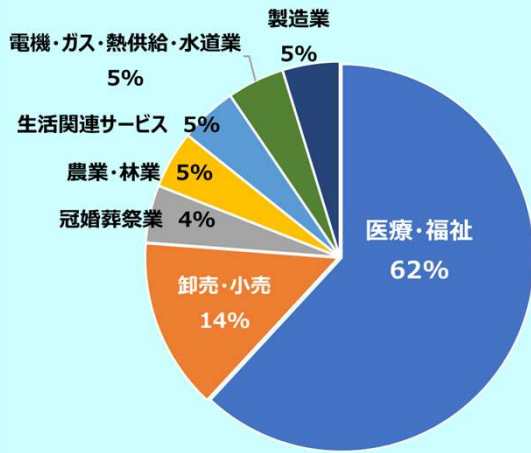


仕事の経験が少ない方！
正社員雇用などの安定就労を目指す方！
気になる求人への応募を迷っている方！
短期間での離職を繰り返しておりミスマッチを防ぎたい方！

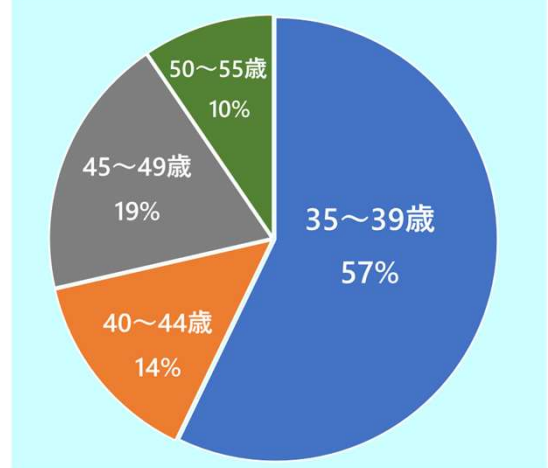
を対象に実施しています。

職場実習・体験（インターンシップ）実施状況（沖縄労働局） （令和2年度～令和5年11月末）

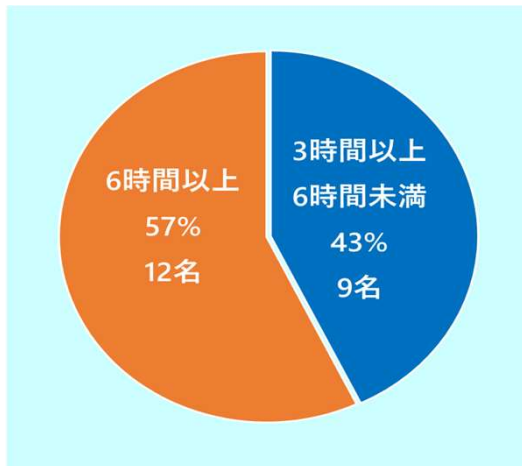
業種別



年代別

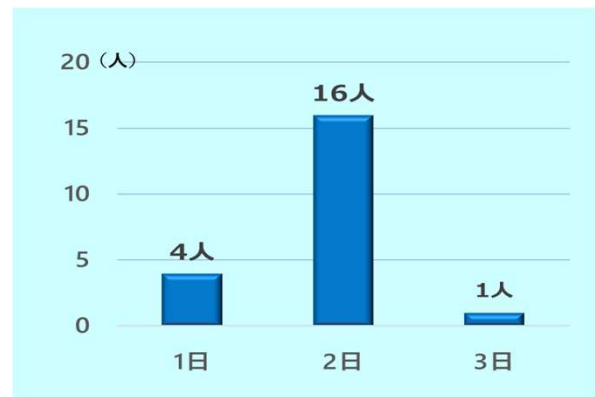


実施時間



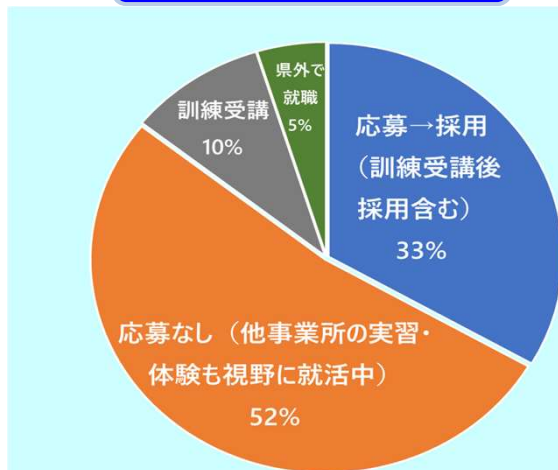
※休憩時間は含まない

実施期間



◆1日の流れを午前と午後の2日に分けて実施する事が多いため、2日間の実施が多い

実施後の状況



<応募しなかった主な理由>

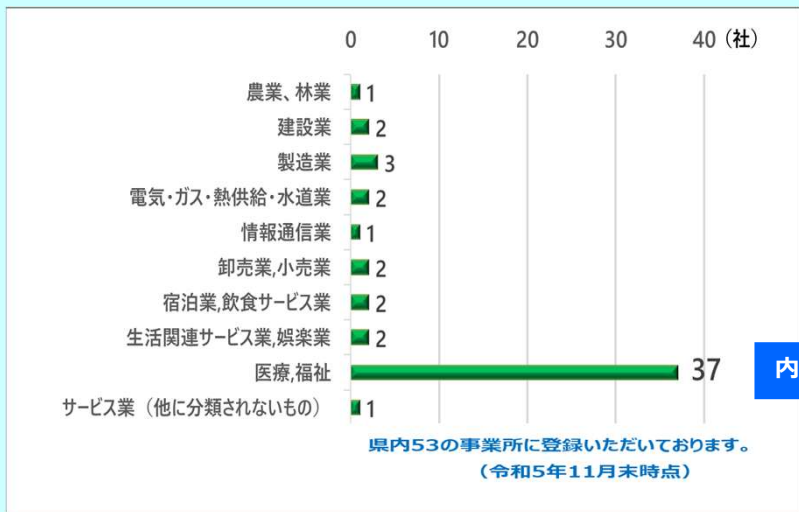
- 希望した業務をさせてもらえなかった
- 業務量の割に給料が低い
- 資格が必要と感じたので先に資格を取得したい
- 業務量が少なく暇な時間が多かった
- 他の事業所も体験したい
- 自分には適性がないと感じた

応募には至らなかったが、終了後のヒアリングで、「体験した事業所は他の方へお勧め出来ますか？」の問いに対し「おすすめできる」「ぜひ体験してほしい」との回答が多かった。

また、「求人票や面接のみでは確認出来ない内容を知る事が出来て良かった」「自分に適性がない事に気づけた」等の意見もあり、実習・体験を通して、本人が適性の有無を判断することが出来たり、ミスマッチや早期離職の防止となり、求職者のみならず、事業所に対してもメリットがある。

受入事業所開拓状況（沖縄労働局） （令和2年度～令和5年11月末）

◆ 受入事業所開拓状況（業種別） ◆



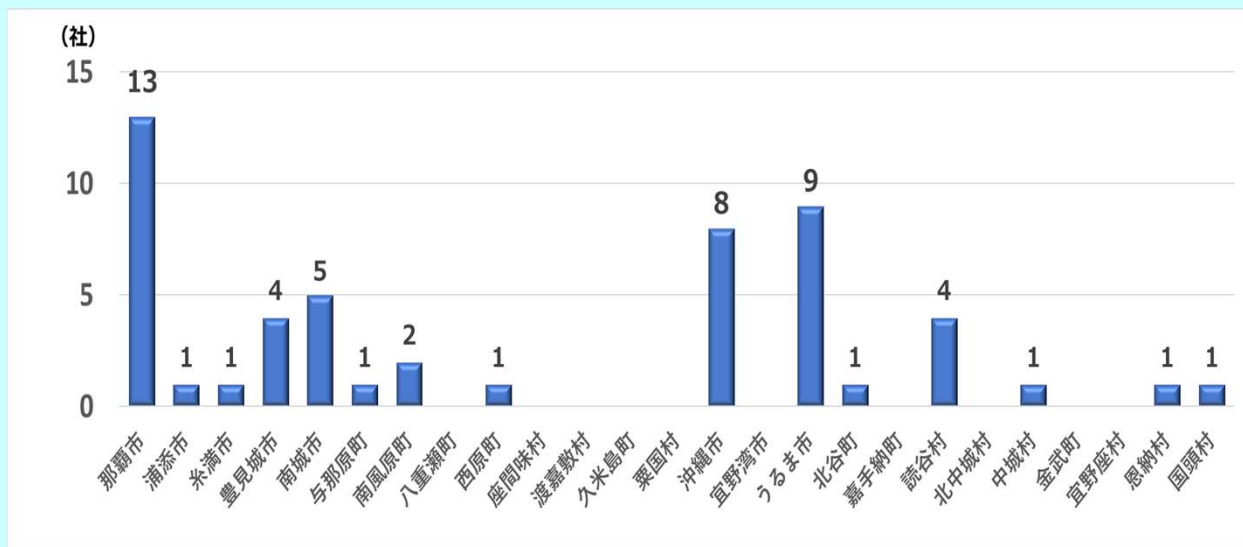
○ 医療・福祉の登録が69%と全体の約7割を占めている

<医療・福祉の内訳>

| | |
|---------------|-----|
| ○ 児童福祉事業 | 3社 |
| ○ 老人福祉介護事業 | 6社 |
| ○ 障がい福祉介護事業 | 6社 |
| ○ 介護事業 | 10社 |
| ○ 保育園・こども園・学童 | 10社 |
| ○ 病院・一般診療所 | 2社 |

内訳

◆ 受入事業所（市町村別） ◆



●● 受入で期待できること ●●

採用前にミスマッチの防止・人材の見極めが出来ます！

◇「やる気・本気度の高い方」の応募に繋がる可能性があります。

◇入社後のミスマッチや早期離職の防止が出来ます！

※本事業は、就職氷河期世代の方に、安定就労に向けて職場体験を積んでいただくためのものです。実習終了後に受入先事業所に雇用義務が生じるものではありません。

■ ■ 受入事業所の声 ■ ■

見学・体験実習へ取組む姿勢はもちろんです。挨拶や言葉遣いなどもしっかりしていて質問も多く、とても好感が持てる方でした。是非、当施設に希望されることを願っています。
(医療業)

初めは緊張しておりましたが、利用者様とのコミュニケーションを取り合ううちに緊張がほぐれている様子で、利用者様とお話などし、真摯に向き合い従事されておりました。
(医療業)

積極的に質問してくれるので、介護の仕事が好きで向上心がある事が伝わってきた。
(介護事業)

介助動作の説明時も熱心に聞き、積極的に質問もあり、指示も戸惑うことなく行えておりました。
(介護事業)

分からない事を積極的に聞く姿勢が良く、患者対応も丁寧でとても良い。スタッフとの関りも良く、チームのメンバーとして申し分なしであった。
(医療業)

テキパキ動いて考えて行動していて良かった。頭の回転が早く、作業している内容をすぐ理解して行動してくれて助かりました。
(介護事業)

物腰も柔らかく感じも良い。事務員に向いている。今までの仕事、デスクワークが生かせる職場です。管理システムの仕事に最適な人材。仕事に対しては前向きな姿勢と向上心があります。即戦力に繋がる人材ですので期待したいです。
(生活関連サービス業)

久しぶりにこの年齢では見られない礼儀正しく好印象。体験という事でしたが、積極的に取組み、何より現場での作業が楽しいという事でした。取引先や店舗スタッフからも好印象でコミュニケーションの高さを感じました。
(生活関連サービス業)

礼儀や言葉遣いなど良い印象でした。注意事項もしっかり守り、積極的に質問もあった。他の職員や院長からも、問題なく接しやすい方だと感想を受けた。
(医療業)

■ ■ 体験者の声 ■ ■

30代 (女性)

職種：生活支援員 (障がい者支援)

内容：食事介助、入浴・着替え・排泄介助

流れを体験出来たことは貴重だった。日によって利用者の体調や気分も変わると思うので1日で終わったのは残念だった。障がいを持っている人のお世話は大変だしやめた方が良くと言われていたが、いい意味で偏見がなくなった。やはり、資格の勉強をして自信をつけて応募しようと思った。見てみる事は大事だと思った。

50代 (男性)

職種：総務スタッフ

内容：施設見学と説明

業務の流れやプランも分かりやすく説明いただいた。システム導入の話、施設の案内もしていただき業務の理解を深める事が出来た。

40代 (男性)

職種：介護職員 (老人介護)

内容：送迎、体操、清掃、食事介助

介護の知識がなく自ら動くことが出来なかった。資格取得を優先したいという希望が強くなった。3か月の訓練終了後応募し採用が決まった。

50代 (男性)

職種：集配

内容：リネンクリーニングの集荷・配送

人間関係が良いと感じたし皆さんとても働きやすそうだった。イメージしてたより楽しく3日間あっという間だった。

30代 (男性)

職種：工場スタッフ

**内容：食肉の盛付け、食肉加工
バック詰**

商品の見せ方を工夫していたりととても勉強になった。自分には向いていないと思ったので応募はしないが、とても良い職場だと思った。

30代 (女性)

職種：医用機器販売及びメンテナンス

内容：病院への定期訪問の同行

求人内容だけでは、見たり感じたり出来ないことを、体験を通して1日の流れを知ることが出来たので、とても役に立った。実習後、応募し就職が決まった。

30代 (男性)

職種：電気工事士 (内線工事)

内容：電気内線工事

電気工事で知らなかった作業工程を知ることが出来た。実際に作業を体験出来たことで電気工事に対する興味が深まった。次の目標として「建設施工管理」の取得も検討している。実習後、応募し採用された。

50代 (男性)

職種：介護職員 (老人介護)

内容：朝食・移動・就寝介助等

実際の仕事と同じ流れを体験することが出来た。覚える事が多くやりがいを感じた。職種に対する不安を払拭することが出来、応募する決心がついたので応募したところ採用された。

30代 (女性)

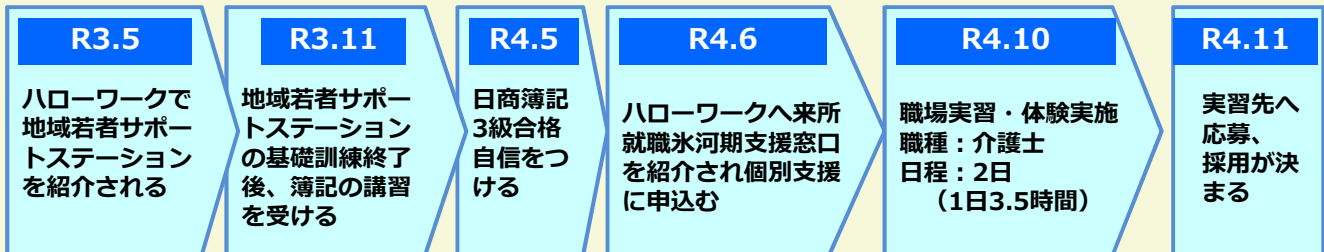
職種：介護福祉士

内容：食事介助、入浴見守り・介助

教育係の対応が分かりやすく親切で内容も充実していた。職場の雰囲気も良く働きやすい印象で、利用者も予想外の行動があり新鮮だった。体験終了後の面談で資格がないため給与面での好待遇は望めないことがわかったが、他事業所も体験し前向きに応募を検討したい。

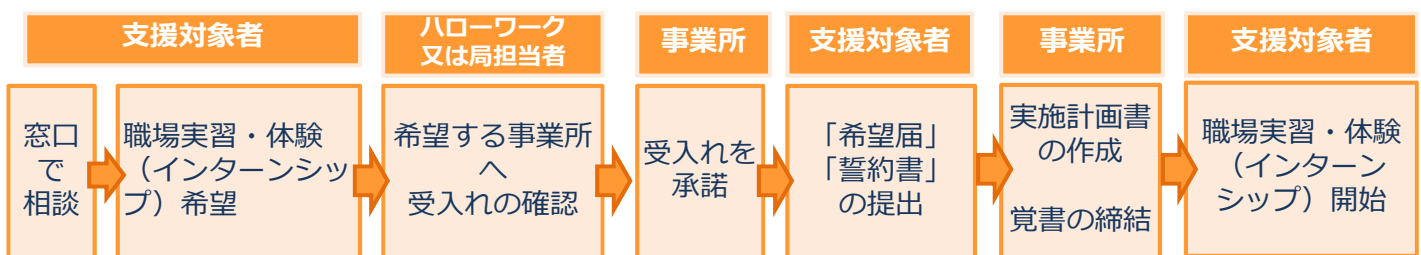
長期無業から採用につながった成功事例

- 30代（男性） 県外のIT企業に就職するが、メンタルを崩し退職
- 15年ほど無職の状態が続いたが、生活を変えるためハローワークへ通い始める
- 様々な支援を受け、職場実習・体験（インターンシップ）を希望（介護職員）
- 実習後、応募しR4.11.1採用。R5.11末現在も同じ事業所で就労中。



県外のIT企業で働いていたが、メンタルを崩し退職。23歳～38歳まで無職だった。これ以上この生活を続けられないと思い、ハローワークに行ってみようと思った。その際、ハローワークから地域若者サポートステーションを紹介され、基礎訓練を3か月受けて、周りとのコミュニケーションが取れるようになった。基礎訓練終了後、簿記の講習を受け日商簿記3級合格。ここで自信が付き、就労のためハローワークに来所した。就職氷河期世代支援対象窓口を紹介され、個別支援に申し込んだ。簿記の資格を活かして経理事務を希望していたが、jobtagで自己理解、適職診断をした結果、「介護職」が出てきた。興味を持ったので、情報収集のためハローワークのミニ企業説明会に参加し、企業の見学会に参加。その後、応募したが不採用。もう一度、他の企業のミニ企業説明会に参加したが、介護の仕事が自分に出来るのか不安な気持ちになりハローワークで相談したところ、職場実習・体験（インターンシップ）を勧められ、実施することになった。実習先のリーダー（男性）が、「得意なところは伸ばして、不得意なところは得意な人に助けてもらってチームで支えあおう！」と言ってくれたことや、「分からないことを分からないままにしておくのが一番良くない」と言われたことから質問もしやすかった。利用者の表情を見ていると笑顔も多く、ここで働きたいと思える環境だったので応募したところ採用された。インターンシップを通して、実際に働く現場の人に自分の働く姿を見てもらったことが採用に繋がったと思う。他の求職者にも勧めたい。相談当初に比べ仕事に対する心構えが変わった。また、自信がついたおかげで就職に繋がった。ハローワークの皆様に感謝します。

◆◆◆ 職場実習・体験（インターンシップ）開始までの流れ ◆◆◆



県内の就職氷河期世代支援対象窓口

◆ハローワーク那覇◆
ミドル支援窓口
那覇市おもろまち1-3-25
☎098-866-8609

◆ハローワーク プラザ沖縄◆
キャリアチャレンジ支援窓口
沖縄市中央2-28-1
☎098-939-8010